



世界に繋がる陵南小学校 令和4年度第3号

令和4年6月24日

～ 子どもに視線を送っていますか？ 毎日がスペシャルです！ ～

校長 牧 哲史

鬱陶しい梅雨の時期が続いていますが、この梅雨の季節がないと、また困るものですね。ほどほどに生活に役立つ程度の雨量で、大きな災害等がないことを願いたいと思います。奄美地方が、梅雨明けし、九州南部も例年より早く明けそうだという予報もありました。梅雨明けが待ち遠しいですね。

さて、今回のテーマは「毎日がスペシャルです！」

かつて、中学生をもつお母さんたちに、「子どもと過ごした日々の中で、あなたの心に刻まれているほのぼのとした話題とは何でしょうか」と質問して、書いてもらったことがある。

せっかく書いてくださったものに、ケチなどつける気持ちはさらさらないのだが、結果は期待と大きく違っていた。こちらは子育ての過程で、ふと心に残った小さい「ほのぼのとした話題」を想定していたのに、書かれているのは、大事件過ぎるのだ。

そこで、気付いたのだけれど、お母さんは日常の子どもの何気ない行動に、視線を送っていないのではなかろうかと。親が出て行って、指導するか、処理するかしなければならないようなことだけに、視線を送っている感じなのだ。確かに、その目配りもできないようでは親とは言えない。でも、これだけでは寂し過ぎはしませんか。子どものおもしろさも、子育ての楽しさも抜け落ちてしまっている。思い出して心がなごむ物語などできそうもない。もったいなくて仕方がない。

中学生の女の子がこぼしていた。「お母さん、今日、こんなおもしろいことがあったの」と話しかけても、疲れているのか返事もしない。ところが、テストや勉強のこととなると、俄然（がぜん）、なに、なにと乗り出してくれる。まるで、私を点数を取る機械のように思っているみたい。いろんなことをやって、毎日笑ったり、怒ったり、悲しかったりしている人間の女の子だって思ったことあるのかしら」

確かに、親は子どもの成績に非常に関心が高い。その分、子どもそのものに、言わば、人間的な部分に視線がいかないところがある。

また、「教えてやろう」「注意しておかなくちゃ」という指導意識が高くて、あるがままの自然な子どもの姿にゆったりと視線を送っていないような気もする。

もし、あなたが目をつむって子どもを思い浮かべたとき、限られた姿しか浮かんでこないとしたら、子どもに注がれる視野がかなり狭いのではないだろうか。そして、同時にそれはあなたの心に子どもの物語の蓄えが、乏しいことの証しでもあるような気がしてならない。

「忘れていませんか 子育てで大切なことを」品川孝子著から抜粋

この文章では、中学生を例にしていますが小学生にも置き換えられます。

「毎日がスペシャル」という竹内まりやさんの曲をご存じでしょうか。（ちょっと古かったでしょうか？）鉄棒で逆上がりができた日も、縄跳びで二重跳びができる日も、友だちとけんかしてしまったことも、転んで膝をすりむいたことも、親子でテレビの映画を見たことも、朝、子どもが出かけるときに見送ることも、帰ってきたときに「お帰り」とあたたかく迎えることも、考えてみれば、どれもこれもドラマ。その一つ一つの思い出の積み重ねが、子どもの将来を築く土台となり、経験となり、成長の糧となります。そのようなあなたたかで、ほのぼのとしたシーンを大切にする。その積み重ねが子どもを確実に成長させるし、子どもを支えていくことになるのだと思います。

子どもが話しかけてくるでしょうか？それを上手に聞いてあげていますか？



「毎日がスペシャル」そんな気持ちで子どもに毎日接したいものです。帰宅時とか、夕飯後とか、今日の出来事などを聞いてあげて、「へえ、そうだったんだ」「よかったですねえ」「それはちょっと悔しかったねえ」と相槌（あいづち）打ちながら、今日という時間を共有する「ひととき」が、きっと親子の絆を深めるものだと思います。

子どもに視線を送るってことは、子どもに寄り添うということです。そんなときに、子どもは「愛されている」「大事にされている」と実感するのです。

「子どもの物語の蓄え」・・・記憶にとどめておきたい大事な言葉です。

愛校作業実施！5月28日（土）

コロナ禍により、昨年度は実施が困難でしたが、今年度は人数制限をして各学年1組の施設・事業部の方々に参加していただき実施しました。おかげさまで校内が大変綺麗に清々しくなりました。ありがとうございました。

～人権週間を通して～



人権とは、私たちが幸せに生きるために之權利で、人種や民族、性別を超えて万人に共通した一人一人に備わった之權利です。その個々の人権は大切であり、守らなければならぬことを発達段階に応じ、理解させることが必要だと考えます。本校では、年2回人権週間を設定していますが、前期の人権週間を6月6日～11日に設定し、各学級ごとに人権学習に取り組みました。

実践の一例として「友だちの良いところを見つけよう」・・・毎日、何気なく過ごしてると、友だちの良いところも見えているようで見えていないもの、そこで、一度立ち止まり、友だちの良いところ、自分の良いところに目を向けてみようという取組です。書いた人も書かれた人も心が温かくなる取組でした。週間中だけでなく継続して取り組みたいものです。

引き渡し訓練実施！6月11日（土）

不審者出没により、通常の下校が危険と判断した時の保護者への引き渡し訓練を、今年度は全学年児童を対象に行いました。



保護者の皆様の迅速な動きから校内でのスムーズな流れを作ることができました。ありがとうございました。今後もその他の事情【大雨、暴風（台風）等】により、児童による下校困難の場合があることも予想されます。今後、訓練が生かせるよう御協力ください。

～校内出前読み聞かせ～



読書は周りの人にも素晴らしい効果をもたらすとか。なんでも、アメリカのある調査によると、読書好きな人の約40%がボランティアに参加し、約82%の人が募金をし、そして約71%が日常的に近所の人の手助けをしているというそんなデータ

があるんだそうです。雨の日も続いているが、そんな日は家庭でゆっくり読書の時間もいいものです。学校では・・・6月13日（月）朝の読書タイムにクラス担任を交代して出前読み聞かせ等も行っています。

～「田植え」体験学習を通して～

6月17日（金）、校内にあるミニ水田を利用して5年生が、田植えを行いました。本年度も地域の老人クラブの方々をお招きし、苗の植え方の指導を受けました。田植えや稻刈りの体験をすることもほとん



どない家庭もあると思いますが、土に触れ、稲の生長を見守り、収穫の喜びを体感できる「稻作体験」は、ふるさとを愛する心の育成にもつながっていくと思います。秋の収穫を楽しみにしたいと思います。関わっていただいた老人クラブの皆様ありがとうございました。

来週は水泳参観週間です！

6月に入り、本格的に水泳学習が行われています。子ども達は自分の能力に合っためあてに挑戦し、達成できるよう日々練習に励んでいるところです。そこで今年度も、6月27日～7月1日まで保護者の方々の参観週間を設けました。都合の良い日に参観され、子ども達の実態を知り励ましてくださるようお願いします。



7月の行事予定

1日(金)PTA登校指導 学級PTA

陵南校区子ども安全推進協議会役員会

5日(火)学習個別指導期間（放課後）～14日

7日(木)着衣水泳1～6年 ～8日

12日(火)クラブ活動

15日(金)命の教育の日

18日(月)海の日

20日(水)終業式 大掃除 一斉下校

21日(木)夏季休業～

25日(月)教育相談期間～29日

27日(水)市小学校水泳記録会

(国分総合プール)

